

須崎市藻場復活プロジェクト

★プロジェクトの概要

- 高知県須崎市は、高知県西部に位置し、土佐湾に面し温暖な気候とカツオ、タチウオやイセエビなどの豊かな海洋資源に恵まれ、釣りで街を活性化させる「『釣りバカ』シティプロジェクト」や「須崎市ゼロカーボンシティ」宣言、森林保全に関する協定を結ぶなど環境対策にも積極的に取り組んでいる。
- プロジェクト対象の池ノ浦地区は、リアス式海岸沿いにある漁村で、多様な漁業が営まれる。また、県内有数のイセエビの産地で、漁獲だけでなく、資源維持のための管理も行っている。
- 池ノ浦地区を含む土佐湾中東部海域には磯根資源であるガラモ場と褐藻類ホンダワラ・カジメが形成されていたが、**近年の気候変動等の影響(水温上昇)により、磯根資源の衰退と魚種及びエビ・貝類などの衰退が進んでいた**ところである。
- 2010年に漁協の磯焼け対策部会が発足し、ウニ類の除去や母藻の投入などを漁業者主体で進める中、2023年には「須崎市藻場プロジェクト推進協議会」が設立され、市内漁協や行政など多様な主体が連携して藻場の保全と再生を目指しています。広域でホンダワラの藻場造成が進展している一方、**継続的な活動および、モニタリング実施等に係る資金は課題となる。藻場活動を持続可能にするための原動力として、活動資金の確保を行うこと、それにより地域の機運を高めることが重要であるとの考えから、今回申請を行った。**

●プロジェクトの特徴・PRポイント

- ✓ 本プロジェクトの対象となる池ノ浦地区では、漁協の磯焼け対策部会にて2010年から取組を開始しており、その後、「池ノ浦・久通磯焼け対策部会」として**水産多面的機能発揮対策において取組を推進してきており今回の申請にはそのデータを活用**している。
- ✓ 本年度の知見を活かし、磯焼け対策部会として活動をしてきた**久通地区、須崎港で国交省が整備中の防波堤背後の浅場での藻場造成成果を活かした申請と藻場保全活動を今後も進めていく。**

申請主体:須崎市藻場復活プロジェクト推進協議会

○構成員

須崎市
須崎町漁業協同組合 須崎町支所
錦浦漁業協同組合 錦浦支所
須崎釣漁業協同組合 須崎釣支所
大谷漁業協同組合 大谷支所
野見漁業協同組合 野見支所
高知県漁業協同組合池ノ浦支所 池ノ浦支所
高知県漁業協同組合久通浦所 久通支所
高知県漁業協同組合 深浦支所

藻場の位置図



ウニ駆除



モニタリング



協議会



ホンダワラ